

舞根の森里海トレイルづくり

一つながりを体験できるコンテンツの開発

活動地域  宮城県



塩性湿地の見学会

課題

森里海の一つながりの重要性は認識されるようになり、各地で植樹祭、多自然川づくり、干潟・藻場造成等がスポット的に進められてきたが、地域づくりに結びついていない。

目標

気仙沼市の西舞根川流域圏を対象として、海～干潟～塩性湿地～川～里～森という「ひとつながりの環境」を体験するためのトレイル整備並びに体験コンテンツを作る。



今後の
展望

森の中のトレイル及び拠点づくりを進め、毎年100m²以上を整える。デジタル案内板のための生物・環境カタログを作成し、見学者に示してアンケート調査を行い、見やすさ・伝わりやすさを改善する。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 塩性湿地では絶滅危惧のカワツルモの分布と塩分・溶存酸素濃度の関係を3回調べた
- 西舞根川を遡上するスジエビのビデオ撮影を深夜に行った
- 県内外から11校304人の体験学習を受け入れ、夏と秋に森海キャンプを開催して28人が体験した
- 環境モニタリングカメラを2か所に設置し、試運用した
- トレイル候補マップを作成し、地権者リストを作成した
- 森の拠点づくりは延べ49人が7回行い、57本の生育不良のスギや立ち枯れ松を伐採し600m²を整地した
- 暫定トレイルの見学会を6回試行し61人が参加した



森の間伐と拠点づくり

トレイル試行・参加者数 **61人**

森の拠点整備 **600m²**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **30%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

全スポットの散策に3時間程度かかるが公衆トイレがないこと、また森の中では携帯電話が通じないため、手放しで歓迎しづらい。

■工夫した点

森の拠点に人力で持ち運べる簡易トイレを設置し、さらに、自然浄化型のトイレ(分解上澄みだけ地中放出)の検討を始めた。

〒988-0582

宮城県気仙沼市唐桑町東舞根212

電話：0226-31-2751

E-mail：info@mori-umi.org

HP：http://mori-umi.org/

